

令和4年度

湖南省教育委員会事業評価

湖南省教育委員会

評価報告書

令和4年度

湖南省教育委員会評価委員会

令和4年度 湖南省教育委員会評価委員会の実施について

本委員会では、湖南省教育委員会事業評価について、今日までの評価項目全体を評価するのではなく、毎年度実施する所管課の最終評価を踏まえ、年度当初に所管課が重点的に取り組む事項として掲げた重要項目に対し、委員会として評価を行うこととした。

令和4年度は、別紙に掲げる主要4事業を対象とし、所管課の作成した教育事業評価シートにより事業の実施内容、成果・課題等についてヒアリングを行い、各委員からの意見をもとに、総評および各項目に対する講評を行った。

今後は、本報告書に記載してある評価をもとに令和5年度以降の取組の改善を進められ、さらなる本市の教育の向上を願うものである。

令和5年3月15日

湖南省教育委員会評価委員会

外部評価実施内容

- | | |
|------|-----------------------|
| ①日 時 | 令和4年5月11日（水）午後1時30分から |
| 場 所 | 湖南省役所西庁舎 3階大会議室 |
| ②日 時 | 令和4年11月2日（水）午後2時30分から |
| 場 所 | 湖南省役所西庁舎 3階大会議室 |
| ③日 時 | 令和5年3月15日（水）午前10時から |
| 場 所 | 湖南省役所西庁舎 3階大会議室 |

評価体制

外部評価委員（評価委員会委員）

横 山 幸 司	（委員長）
中 村 善 司	（副委員長）
平 野 龍 雲	
平 地 幸 美	
小 島 妙 子	

評価対象事業数

4事業（令和4年度最終評価シート48項目の内）

対象事業

- 資料No.16（図書館）
 - ・「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
- 資料No.48（教育支援課）
 - ・安全教育の推進（通学路など危険箇所の合同点検箇所）
- 資料No.52（教育総務課）
 - ・学校施設の環境整備事業
- 資料No.55（学校教育課）
 - ・教師力・組織的対応力アップへの取組

【総 評（全体）】

今回、教育委員会事業評価の基となっている第2期湖南省教育振興プランの計画が令和2年度にスタートし、3回目の評価となった。

令和4年度の事業の所管課評価（最終）は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で実施が困難になっているものを除き、おおむね目標どおりの取り組みが行われた。関係各位のご努力、ご尽力に敬意を表するとともに、今後も同プランに基づきながら計画的に執行されたい。

4年間にわたって続いてきたコロナ禍から、いよいよアフターコロナの社会に移行しなければならないときとなってきている。新型コロナウイルス感染症が収まったから元に戻すということだけでなく、コロナ禍で学んだ教訓を次の社会につなげていくことが必要であると考えます。

他にも、昨今の強盗事件が全国で多発している社会状況にかんがみ、防犯・防災対策に今まで以上に取り組むことなどが重要である。

行政改革で最も重要なことはスクラップ&ビルドであり、歳入歳出の見直しや、施策は効率的、効果的に実施されているのかといった視点から見直し、改善していくべきである。

令和5年度も引き続き、「～学校・家庭・地域が連携し、それぞれが責任を持つ教育の創造～子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て未来を拓く「生きる力」の育成」の実現に向けて事業を推進されることを期待し総評とする。

【講評（事業別）】

○資料No.16（図書館）

- ・「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進

【コメント】

- ・ 大変良い取り組みだと感じており、このような図書館の活動がますます伸びていくことを期待する。
- ・ いろいろな経験をされた方々がボランティアをされていて、読み聞かせのうまい、または子どもを惹きつける話術に子どもが惹かれる様子を目の当たりにすることがある。マスクで表情が見えにくくても、視覚や声の抑揚に小さな子どもたちも反応するので、大変有益である。
- ・ コロナ禍で難しい点もあったかと思われるが、12月からボランティアグループによるおはなし会を再開されてよかった。肉声での読み聞かせを肌で感じる本との出会い、親にとっては他者との関わりの上でも、本来の活動に戻りつつあることは喜ばしい。
- ・ 評価指標が開催数となっているので、評価には出てこない点ではあるが、図書館は、ボランティアグループの育成や質の向上支援をされたい。

○資料No.48（教育支援課）

- ・ 安全教育の推進（通学路など危険箇所の合同点検箇所）

【コメント】

- ・ P T Aの保護者や、普段から見守り活動をされている地域の方々からの意見も聞く機会があれば良い。また、児童生徒自身が自分の命を守っていくために、「危険箇所はどこだろう」「ここを通ればいいんだ」と考える力を育てる防災教育も必要である。
- ・ 事業評価シート（重点事業）に、湖南省通学路安全推進プログラムに基づいて実施しているということがわかる記載をされたい。
- ・ 子ども等への犯罪対策として、防犯カメラの設置を検討されたい。

- ・ 散歩は、園にとって自然にふれると同時に一番の安全教育の場である。自らの身を守るという意味でも、危険を察知できる子に育つように子どもとともに歩きながら危険個所の点検をするのもいいのではないか。今後も市の関係課と連携を取りながら通学路の安全確保に努められたい。
- ・ 県や警察、市が協力しながら合同点検を実施し、安全対策をしていることは大変良い取り組みである。

○資料No.52（教育総務課）

- ・ 学校施設の環境整備事業

【コメント】

- ・ 今年度トイレ洋式化工事を実施した3校のトイレ洋式化率が目標通り7割を達成されたことは、大変評価できる。清掃のための予算の確保に努められたい。
- ・ 衛生面はとても大切なことであるため、工事をして完了というわけではなく、子どもたちへの清掃方法の指導、来校者へのお願い、日常のメンテナンス等、施設の維持管理に努められたい。
- ・ トイレ洋式化率約70%を数値目標とされている点について、トイレ1か所あたり3～4基の便器のうち1基は洋式を使用できない子どもに配慮して和式のままとし、残りの2～3基を洋式化していると事務局の説明により理解できた。評価シートを一見しただけではわからないので、70%としている意味合いをもう少し明確に記載するよう検討されたい。
- ・ 避難所が学校に指定されているが、体育館等の安全面や衛生面での対策について、防災担当部局と連携しながら進められたい。
- ・ 日常の清掃は子どもたちが行うことはもちろん大切であるが、定期的にプロによるメンテナンスを行うことも必要であると考えます。

○資料No.55（学校教育課）

・ 教師力・組織的対応力アップへの取組

【コメント】

- ・ 教師が自分のニーズにあったものについて、主体的に講座を考え、市内教員が講座の講師をし、楽しく研修を進められている。先生方には、「こんな学校にしたい」ということをイメージして校内研究で目標を作り、それに対する研究指定を取ったり、そこで先輩教師から学んだりする力をつけられることを期待する。
- ・ ICTリテラシー等、今日的な課題について研修する機会を設けられている。これからも時機に応じた研修を行い、教師力向上の土台を築かれない。
- ・ 講座数が増加していることは、それだけ選択肢が増えていることであると思われる。教師が学んだことが、子どもたちに活かされていくことを希望する。
- ・ 教師に限らず、教育委員会事務局職員にとっても研修は非常に大切である。一般行政職として基礎となる研修の実施ができているか、今一度見直されたい。

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	1	主体的・対話的で深い学びの充実

2. 具体施策の概要

具体施策	人生100年時代を生き抜く力の育成
内容	学習指導要領や全国学力・学習状況調査の分析結果をふまえ、毎年「湖南省学ぶ力向上策」および「我が校の学ぶ力向上策」を作成し、授業改善や学校・学校集団づくりに取り組みます。また、中学校区ごとに「めざす子どもの姿」を共有し、中学校区連携を重視した学校教育を推進します。課題解決力・コミュニケーション力といった資質・能力の育成に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	各中学校区で設定した「めざす子どもの姿」に関するアンケートで強い肯定的な回答をした児童生徒の割合 ※中学校区ごとにめざす子どもの姿が異なり、それに依拠してアンケート項目も異なるため、中学校区ごとに割合を出し、4つの中学校区の割合の平均を目標値にしています。
実績値(平成30年度)	25.0%(中学校区ごとの割合の平均)
実績値(令和2年度)	30.1%(中学校区ごとの割合の平均) 石部:26.8% 甲西:26.3% 甲西北:34.6% 日枝:32.8%
実績値(令和3年度)	市全体29.0%(中学校区ごとの割合の平均) 石部:28.8% 甲西:25.5% 甲西北:30.7% 日枝:31.2%
数値目標(令和4年度)	30.0%(各中学校区ごとの割合の平均) 石部:29.0% 甲西:27.0% 甲西北:31.0% 日枝:33.0%
実績値(令和4年度)	29.5%(各中学校区ごとの割合の平均) 石部:32.1% 甲西:22.1% 甲西北:28.6% 日枝:35.2%
数値目標(令和6年度)	30.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	各中学校区にて設定した「めざす子どもの姿」に関するアンケート項目は以下のとおりです。 石部中学校区「授業では、仲間の考えを聞き、自分の考えを伝えている」29.8% 甲西中学校区「自分の考えと照らし合わせながら、友だちの意見を聞いたり、資料を読んだりしている」25.8% 甲西北中学校区「学習を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている」29.7% 日枝中学校区「活動中は、仲間の思いや考えを聞き、自分の思いや考えを話している」36.1% 各中学校区ごとの割合の平均は30.3%であり、数値目標は達成していますが、今後も引き続き、めざす子どもの姿に迫る取組を各校にて工夫して継続します。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も各中学校区ごとに目指す子どもの姿を設定し、湖南省教育の取組の1つとして推進してきました。アンケートは、年3回実施し、各中学校区ごとに集計および分析を行い、校長会や学校訪問等で報告しています。第3回目の市の平均は29.5%で目標値に概ね近づくことができました。このアンケート結果から、各中学校区ごとの課題を明確にして改善するように、2月16日に実施した湖南省子どもの学びづくり委員会にて指導しました。来年度も、中学校区ごとの小中学校の連携をより一層強め、目指す子どもの姿に近づくための具体的な取り組みを共通理解・共通実践していきます。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	2	キャリア教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	キャリア教育の推進
内容	<p>キャリア教育を効果的に展開していくためには、特別活動が学校教育全体で行うキャリア教育の要として位置付け、これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなど、自己の将来や社会づくりにつなげていく学習活動を充実させることが重要です。</p> <p>そのために年間計画を見直し、小中学校のつながりが明確になるよう整理します。またその実施にあたっては、職場体験活動や社会人講話などの機会の確保に努めます。さらに職場体験活動などの固定的な活動だけに終わらないよう、地域の方とのふれあいや語らいを大切に、将来、児童生徒が社会のなかでの自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現させていくための資質・能力を育みます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	キャリア教育の視点からの年間計画の策定
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	2校
実績値(令和3年度)	5校
数値目標(令和4年度)	13校
実績値(令和4年度)	13校
数値目標(令和6年度)	13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>キャリア教育全体計画の作成については、市内すべての小中学校(13校)にて、作成することができ、昨年度の実績を大きく上回っています。この計画をもとに、キャリアパスポートを活用しながら系統立ててキャリア教育を推進しています。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>各校にて策定したキャリア教育全体計画をもとに、コロナ禍ではありましたが、各校工夫してキャリア教育に取り組むことができました。具体的な例をあげると、小学校では、湖南省教育委員会が後援している、お仕事ノートやお仕事ブックを活用して、自己理解を深める授業を行ったり、ロールモデルとなるゲストティーチャーに本校をいただき、夢や自己実現の大切さを語ってもらう講演会を開くことができました。次年度は、各校での取り組みを他校へ紹介し、キャリア教育のより一層の推進を図ります。</p>	<p>Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ</p>
------------	---	----------------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	3	多文化共生教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	外国人児童生徒への学習支援
内容	さくら教室において、来日して間もない子どもに日本語指導や適応指導を行うとともに、必要に応じて教科などの指導を行って外国籍の子どもたちの学習権を保障します。 外国籍の子どもが多い学校に母語ができる人材を派遣したり、翻訳機器を配置することにより、子どもたちや保護者が安心して過ごせる教室環境をつくります。
具体施策	多文化共生の推進
内容	日本の伝統や文化を理解・継承していこうとする態度を養うとともに、外国の文化や考え方を理解して尊重する態度、異なる文化を持った人々とともに互いを認め合いながら生きていく力を育てます。

3. 数値目標

内容(指標)	外国籍児童生徒支援、保護者対応のための翻訳機器の配置
実績値(平成30年度)	0台
実績値(令和2年度)	19台
実績値(令和3年度)	19台
数値目標(令和4年度)	23台
実績値(令和4年度)	20台
数値目標(令和6年度)	26台

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度1台追加で配置したことで、市内全小中学校に翻訳機器を配置することができました。令和6年度までに3台を追加配置し、外国籍児童・生徒が多い学校に翻訳機器を複数配置することを目指します。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	数値目標には到達していませんが、児童生徒や教職員がタブレットに内蔵されている翻訳・通訳アプリを活用するようになってきており、指導の実態としては、目標に到達できたと捉えております。タブレットの活用で十分な学校の翻訳機器(ポケット)を必要な学校に回すようにするなど柔軟に対応しました。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	4	主権者教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	主権者教育の推進
内容	本市では、政治の仕組みについて必要な知識を学ぶだけでなく、主権者として社会のなかで自立し、他者と連携・協働をしながら、社会を生き抜く力や社会の構成員の一員として主体的に地域課題を解決する力を育てます。また、高校生になってからの主権者教育だけではなく、発達段階に応じて、小学校の段階から主権者教育に取り組めます。

3. 数値目標

内容(指標)	各小・中学校の各教科や特別活動における学びと地域へつなげる取組 (地域行事への参加・参画)
実績値(平成30年度)	13事例
実績値(令和2年度)	13事例
実績値(令和3年度)	13事例
数値目標(令和4年度)	13事例
実績値(令和4年度)	13事例
数値目標(令和6年度)	26事例

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、地域行事への参加や参画については、3密を避ける観点から、実施の難しい状況が続いています。主権者教育の推進のために、現在、小・中学校では、社会科の公民の領域において、政治について学習しています。また、小学校では、実際に東庁舎を訪れ、議会の仕組みについて学んだり、湖南省のまちづくりに関わって、市役所の仕事について話を聞くことで、社会の一員として、自分にできることは何かを考える学習に取り組んでいます。(小学校2校実施済み。4校は、今後実施予定)
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も、コロナ禍ではありましたが、各校で工夫して、自分たちの学校や湖南省のまちづくりについて、よりよくするための取組を考えることができました。湖南省の主権者教育の取組では、政治の仕組みや選挙のことについて学習するだけでなく、自分の学校やまちづくりの課題について、自分事としてとらえ、自らできることを考え行動する場面が増えました。具体的には、地域の川を守るための活動をしたり、生徒会が中心となって、制服の改定に取り組んだりしています。来年度も、取組のさらなる充実を目指し、対話を通して、課題解決力の育成に力を注ぎます。	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「授業の湖南省スタイル」による授業実践校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	湖南省教育委員会で作成した「湖南省学力向上策」を踏まえて、全ての小中学校において、「我が校の学力向上策」を定め、各校にて取組を進めています。また、普段から「授業の湖南省スタイル」による授業実践を意識し、職員アンケートでは、6項目中4項目において、年度当初よりも上昇がみられます。この中には、昨年度課題で挙げていた「普段の授業で、『読み解く力』の視点を踏まえた授業づくりを行っている」の項目が入っており、職員の指導力の向上が見られます。一方、「普段の授業で、子どもたちが学びを自覚したり、次時への学習意欲をもてたりできるように『ふりかえり』を書かせている」の項目が、71.9%であるため、9月以降も、校長会・教頭会や学校訪問等において、実際の授業の改善策について、指導を行っていく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も、湖南省や各校で定めた「学ぶ力向上策」に沿って、市内すべての小中学校で授業改善に取り組みました。今年度は、「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりについて、職員アンケートの肯定的な回答が、年度当初より8%向上し、「授業の湖南省スタイル」と「読み解く力」の関係性について、共通理解できた成果であると考えています。一方、「子どもたちが考えを交流する時間の設定」については、2極化が見られるため、次年度も、自分と同じ考えや違う考えの仲間と交流する時間を多く持ち、対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりできる授業改善に取り組んでいきます。	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館を活用した授業実績(年間)
実績値(平成30年度)	小学校801回 中学校187回
実績値(令和2年度)	小学校857回 中学校279回
実績値(令和3年度)	小学校997回 中学校358回
数値目標(令和4年度)	通常学級数×8回 通常学級数×5回
実績値(令和4年度)	小学校 1092回 中学校 1404回
数値目標(令和6年度)	通常学級数×8回 通常学級数×5回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	全ての小中学校で「学校図書館の機能を活用した授業」が実施されている。授業での学校司書が果たす役割について、各校で授業者と図書活用の相談会を実施する等して、計画的に授業へ参画している。また、学校司書の研修会を年5回実施することとして計画し、ブックトーク等の授業支援の在り方を学び合ったり、学校司書間で情報交換をしたりすることを通して専門性を高めている。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症による学習活動の制限が緩和されたことにより、全体的に活用回数が増えました。 司書教諭と学校司書の連携が円滑な学校ほど活用回数が増加しました。今後も、教員と学校司書それぞれのスキルアップと意思疎通ができるしくみづくりを進めていきます。	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は○○(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「ことばの宝箱」を活用した暗唱などに取り組んだ学校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校
実績値(令和2年度)	全小学校9校
実績値(令和3年度)	全小学校9校
数値目標(令和4年度)	全小学校9校
実績値(令和4年度)	全小学校9校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	校長会や国語主任会で「ことばの宝箱」を活用して、暗唱や音読などへの取組の意識を高められるよう呼びかけました。5月の大型連休や夏休みの課題の1つとして、タブレット端末を活用して、「ことばの宝箱」の中の作品を音読する様子を保護者に撮影してもらい学校へ提出するという取り組みを行った学校がありました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内全小学校9校で「ことばの宝箱」の活用ができました。暗唱・音読での取組が9校中9校、詩や俳句づくりでの取組が9校中6校でした。全校共通実践の音読活動で活用したり、書写の作品づくりで活用したとの報告がありました。 次年度、継続した取組で成果を上げている学校について、国語主任会や校長会で取り上げていきたいです。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「湖南省の小さな詩人たち事業」の作品作りに取り組んだ学校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	「湖南省の小さな詩人たち事業」では、現在各校で作品づくりに取り組んでいる。11月17日(木)に二次審査会、11月29日(火)に最終審査会を予定している。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内全小中学校13校で取り組みました。国語で学習したことを生かして作品づくりを行うことで、表現力をより豊かにすることができました。 選者である平賀先生から「子どもらしい素直な作品がたくさんあった」と講評をいただきました。	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	2	育ちと学びをつなぐ教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保することで、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	小・中学校の連携
内容	各中学校区で授業参観や連絡会などの開催、出前授業や合同授業などを通して、情報交換や交流を行い、子どもの連続した育ちと学びを支援できるよう、さらなる連携を図ります。

3. 数値目標

内容(指標)	小・中学校における相互授業参観・授業研究
実績値(平成30年度)	8回
実績値(令和2年度)	5回
実績値(令和3年度)	9回
数値目標(令和4年度)	10回
実績値(令和4年度)	10回
数値目標(令和6年度)	12回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら相互授業参観・授業研究を実施しています。「学力向上アドバイザー学校訪問兼学びの礎ネットワーク推進事業」において、年間1回、各中学校区の小中学校で相互参観の機会をもつ計画をしています。</p> <p>幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、「学びに向かう力推進事業」として三雲小学校と平松こども園による実践を行っています。加配教員が園と学校をつなぐ役目を果たしながら、相互の保育や教育を理解し、学びや育ちの特徴を認識したうえでそれぞれの活動に活かしています。</p> <p>ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問等を実施し、園児の観察や支援についての助言を行うなど、連携を図りました。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>「学力向上アドバイザー学校訪問兼学びの礎ネットワーク推進事業」において、年間1回、各中学校区の小中学校で相互参観・研修の機会を持つことができました。また、人権教育授業研究会においても園小中での参観を実施しています。</p> <p>「学びに向かう力推進事業」の取組をもとに、園から小学校、小学校から中学校へと中学校区でのスムーズな引継ぎや実践の移行ができるよう、特別支援教育コーディネーター会議で協議の場を設けました。</p>	A ⊕ B C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	3	家庭学習支援システムの構築

2. 具体施策の概要

具体施策	家庭学習支援システムの構築
内容	子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、国よりも先取的な「湖南省発達支援システム」を参考に、教育委員会部局・市長部局・関係機関が有機的に関連しあう、「湖南省家庭学習支援システム」を構築し推進します。 教育委員会が「家庭学習支援システム」の窓口として対象者を把握し、子どもたちの家庭学習支援に積極的に関わります。

3. 数値目標

内容(指標)	らくらく勉強会の実施
実績値(平成30年度)	未実施
実績値(令和2年度)	全小学校6校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校7校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	現在、小学校8校、中学校4校で実施しており、昨年度の実績を上回っています。開始時期については、5月:小学校3校、6月:小学校5校、中学校3校、7月:中学校1校です。残りの1校の小学校については、校内体制が整い次第実施予定です。 なお、8月末までの実施状況は、延べ150回、参加人数は延べ1925名です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	コロナ禍ではありましたが、今年度、市内すべての小中学校にて、らくらく勉強会を実施することができたことが、大きな成果であると考えています。今年度の実施回数は、1月末現在で、実施回数は、延べ508回、参加人数は延べ6365人であり、2月も、多くの小中学校で実施予定です。来年度も、地域の方々のあたたかい支援を受けながら、児童生徒の家庭学習の習慣化や、放課後の居場所づくりのために、すべての小中学校で取組を実施していきます。	(A) B C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性の多様性などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。 また、基底プラン改訂委員会を組織し、現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう、基底プランの見直し・改訂を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	中学校区ごとの主任など連絡会議の開催回数
実績値(平成30年度)	各9回
実績値(令和2年度)	各6回
実績値(令和3年度)	各6回
数値目標(令和4年度)	各6回
実績値(令和4年度)	各6回
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性の多様性などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	各学区6回開催しました。各校区、コロナ禍前に近い形で行うことができました。校区の課題や、児童生徒に関する情報共有等の時間も取ることができ有効な会議となりました。来年度も会議開催にとらわれず取組や連携の推進を進めていきます。	A ⊖ B C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進	
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性の多様性などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。	
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施	
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。 また、基底プラン改訂委員会を組織し、現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう、基底プランの見直し・改訂を行います。	

3. 数値目標

内容(指標)	人権教育基底プランに基づく保育・授業研究会の実施
実績値(平成30年度)	公立保育園・こども園 2年に1回 各校 年1回
実績値(令和2年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
実績値(令和3年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
数値目標(令和4年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
実績値(令和4年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
数値目標(令和6年度)	公立保育園・こども園 4年に1回 各校 年1回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	公立保育園1園実施済み。コロナ禍の中で他校からの参観人数を制限していますが、各校開催予定です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施しました。コロナ禍による感染予防対策も講じながら、各校区内の人権担当が授業を参観し合うことで、校区内の人権学習に関する取組の交流が生まれました。校園内での研究協議にも工夫が見られ、教職員の人権意識の向上につながりました。	A (B) C D
------------	--	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進	
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトークなど、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を支援するとともに、乳幼児健診などの機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>	

3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	小学校 30.5冊 中学校 5.1冊
実績値(令和2年度)	小学校 38.6冊 中学校 5.2冊
実績値(令和3年度)	小学校 48.8冊 中学校 6.0冊
数値目標(令和4年度)	小学校 40.0冊 中学校 6.0冊
実績値(令和4年度)	小学校 37.1冊 中学校 5.9冊
数値目標(令和6年度)	小学校 31.0冊 中学校 6.0冊

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	図書室利用について、コロナ対応で利用を制限している学校があり、図書室を利用する児童生徒が減っている現状があります。密を避ける工夫を施して、図書室を活用し、読書推進していきように引き続き各校に呼びかけていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>図書室利用について、新型コロナウイルス感染症の対応で利用を制限している学校があり、図書室を利用する児童生徒が減っている現状がありました。しかし、各校が密を避ける工夫を施して読書推進の取組を進めました。今後、対策が緩和される見込みなので、引き続き子どもたちが読書できるよう工夫をしていきます。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課・図書館・学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を実施するとともに、幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	市立図書館の児童図書の12才以下の子ども一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	11.7冊
実績値(令和2年度)	13.1冊
実績値(令和3年度)	16.1冊
数値目標(令和4年度)	16.6冊
実績値(令和4年度)	15.1冊
数値目標(令和6年度)	16.1冊

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>8.0冊(令和4年4月～9月の実績)</p> <p>昨年度は11月に実施した甲西図書館の蔵書点検を6月に実施したこと、児童の利用が多い夏休み中に新型コロナ感染拡大の第7波があり、8月の児童書の貸出冊数が減少したため、昨年度の上半期より減少しています。下半期は新型コロナの感染状況をみながら、おはなし会などの開催や、非来館型サービスとして保育園、こども園、幼稚園等への移動図書館車の巡回を昨年度に引き続き実施し、その成果として昨年度貸出冊数の0.5冊増を目標値として掲げ、子どもの読書推進を図ります。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>児童の利用が多い夏休み中に新型コロナ感染拡大の第7波があり、8月の児童書の貸出冊数が減少したこと、1月末に大雪のため4日間、移動図書館車の巡回を取りやめたことが影響しています。非来館型サービスとして保育園、こども園、幼稚園等への移動図書館車の巡回を実施すると共に、来年度は現在のコロナ禍に対応した図書館サービスの在り方も見直し、子どもの読書推進を図ります。</p>	A B C D
------------	---	----------------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課・図書館・学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	12
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を実施するとともに、幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	おはなし会などの年間開催数
実績値(平成30年度)	72回
実績値(令和2年度)	6回
実績値(令和3年度)	4回
数値目標(令和4年度)	10回
実績値(令和4年度)	16回
数値目標(令和6年度)	75回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>6回(4月～9月の実績値)</p> <p>広報の方法を見直し、毎月1回、予約制での開催が定着してきたためか、令和4年度に入ってから毎月予約申し込みがあり、開催することができています。しかし、甲西図書館で職員が毎月1回開催するのみであり、ボランティアグループによる開催は見合せたことから、開催回数が激減している状況に変わりはありません。今年度後半も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>広報の方法を見直し、毎月1回、予約制での開催が定着してきたためか、令和4年度に入ってから毎月開催することができています。ボランティアグループによるおはなし会も12月に再開し、3月にも開催予定です。来年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ、図書館サービスの在り方も見直し、回数を増やしていきたいと考えています。</p>	A ⊙ B C D
------------	--	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	1	健康教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	立腰の取組
内容	心身の健康の保持増進を図るために、立腰の必要な知識を習得し、健康・安全を適切に自主管理する態度を育てます。子どもの時期から規則正しい生活を身につけることにより、病気から身体を守り、心身ともに健康な体を養うとともに、学級のあらゆる場面で「立腰」の指導に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	授業や部活動などの活動時間を通して立腰指導を行う実施校数
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>今年度においても、「立腰」を健康教育に位置付けて取り組みを推進しています。しっかり背筋を伸ばして座るよう心がけることで、生涯を通して健康に過ごせる丈夫な体づくりとともに、集中力を持続させて学習にも好影響を与える効果を期待しています。</p> <p>授業中に常時行うのではなく、教員が児童生徒に対してタイミングよく注意喚起しながら児童生徒の集中力を持続させる工夫をしています。また、意識づけができるように立腰のイラストを教室に掲示しています。</p> <p>教育委員会として「授業の湖南省スタイル」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを担当個人の指導力の差とすることなく、学校全体の取組に広げていくよう各校へ引き続き指導・支援していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度においても、「立腰」を健康教育に位置付けて取り組みができました。教室において、立腰のポスターを掲示することで意識付けができています。ただ、日常的、習慣的になっている学級もあるが、そうでない学級も一定数あります。湖南省スタイルゼロ(学習に臨む姿勢の部分)に関わるところとして、今後も引き続き、立腰をするタイミングや効果について各校へ広めていきます。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	2	子どもの体力向上への取組

2. 具体施策の概要

具体施策	学校体育の充実
内容	学力向上プロジェクトにおいて体育科の授業についても授業改善を行います。「授業のポイント5」、「授業の湖南省スタイル」を活用し、子どもが主体となる授業を展開します。 また、始業前・中休み・昼休み・放課後・下校後など、教科外の時間において継続して運動遊びを行うことにより、子どもたちに運動遊びの習慣を身につけさせ、体力の向上を図ります。 子どもを運動好きにすることをめざして、小学校における「健やかタイム」を推奨するなど、運動やスポーツを楽しみ、心身ともに健康な子どもの育成に努めます。
具体施策	子どものスポーツ機会の充実
内容	子どもの体力低下や運動・スポーツをする機会が減少する中、幼児期の運動においては遊びを通じて楽しみながら様々な筋肉や神経を使って体を動かすことが、その後の青年期における運動能力に良い影響を与えます。幼児期の運動や遊びを体験できる機会を充実させる取組に努めるとともに、生涯における豊かなスポーツライフを実現するため地域、スポーツ団体と連携し、健康づくりに努めます。 また、湖南省ちよいスポクラブでは、複数の種目のスポーツが経験できる地域のスポーツクラブとして、子どもの運動離れの解消に大きな役割を果たしており、継続して加入促進に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	小学生の一週間の運動スポーツ実施時間が420分以上の割合(授業を除く)
実績値(平成30年度)	男子51.6% 女子26.9%
実績値(令和2年度)	令和元年度結果: 男子48.9%、女子30.7%。令和2年度結果は次年度(令和3年度)に発表されません。
実績値(令和3年度)	男子45.9% 女子26.1%
数値目標(令和4年度)	男子48.0% 女子27.0%
実績値(令和4年度)	男子44.8% 女子27.7%
数値目標(令和6年度)	男子53.2% 女子28.8%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	体育科の授業について、「授業のポイント5」、「授業の湖南省スタイル」を活用し、子どもが主体的に学ぶことができる授業を展開することで、授業から日常の遊びやスポーツにつながるよう進めていきます。 また、始業前・中休み・昼休み・放課後・下校後など、教科外の時間において継続して運動遊びが行えるような企画や環境を整えることで、子どもたちに運動遊びの習慣を身につけていきます。 小学校における「健やかタイム」(10分間運動)を各校の推奨するなどし、授業以外の運動遊びの等の実施時間を増やしていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	コロナ禍ということもあり、運動機会が減少しています。各校におけるのスポーツイベントの縮小や中止、体育学習の制限等があり、体育学習と日常の運動(運動遊び)とのつながりが難しくなっています。 小学校における運動遊びの機会を見直すとともに、体育学習のカリキュラムとの連携について再度検討が必要と考えています。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	--	--

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	3	学校保健の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における保健衛生の充実
内容	<p>子どもの生活習慣の改善、向上を図るためには、正しい知識や望ましい生活リズムを身につけさせることが必要であり、家庭や地域と連携した取組を進めます。</p> <p>また、アレルギー疾患、喫煙、薬物乱用などに関する課題や、いじめ・不登校などのメンタルヘルスの課題に対応するため、関係各課との連携を図り、保健衛生の充実を図ります。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	ブラッシング指導による歯磨きの習慣化とともに、小中学生へのフッ化物洗口の取組
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
実績値(令和3年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
数値目標(令和4年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
実績値(令和4年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて開始することとなっています。しかし、未だ予断を許さない状況が続いており、現時点では飛沫を避けるためにはフッ化物洗口を実施することは難しいと判断しています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえて、フッ化物洗口の実施は、先送りとなっていますが、このような状況においても学校において可能な取組を実施しました。歯科衛生士・歯科医によるブラッシング指導や給食後の歯みがきの徹底、保健だよりによる啓発など、各校取組を進めることができました。</p>	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	---	--

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	毎日朝食を食べる児童生徒の割合
実績値(平成30年度)	小学校5年83.5% 中学校2年84.8%
実績値(令和2年度)	小学校5年83.4% 中学校2年72.3%
実績値(令和3年度)	小学校82.3% 中学校77.8%
数値目標(令和4年度)	小学校84.3% 中学校79.8%
実績値(令和4年度)	小学校5年87.9% 中学校2年80.3%
数値目標(令和6年度)	小学校5年86% 中学校2年86%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>各校で日々の食指導や、「保健だより」等による保護者啓発を行っています。朝食摂取状況調査(6月)では、毎日朝食を食べる児童生徒の割合が、小学校5年では、昨年度82.3%でしたが、今年度は87.9%と5.6%増加、中学校2年でも、昨年度77.8%でしたが、今年度80.3%と2.5%増加しました。全体的な直接原因は把握できていませんが、過去3年では最も高い数値となっています。</p> <p>栄養教諭や学校栄養士による食育だけでなく、摂取率は家庭的な背景が影響することが多いため、園・学校と家庭が連携を図りながら望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>朝食摂取状況調査では小学校、中学校ともに割合の増加が見られましたが、全県的な課題として県より朝食摂取啓発ポスターが各小中学校に送付されました。特に摂取率の低い中学生が自分でも簡単に作ることができるレシピをQRコードで読み取ることができ、啓発に有効活用したいところです。</p> <p>家庭的要因や朝が起きられない不登校児童生徒の増加も要因となっていることから、社会福祉士が家児相とともに家庭訪問する際、状況を確認したり、食品を届けたりしています。割合としては少ないケースではありますが、地道な取組から朝食摂取の習慣が形成されるよう支援したいと考えます。</p>	Ⓐ B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	ふれあい食育教室の実施
実績値(平成30年度)	9校
実績値(令和2年度)	0校(新型コロナウイルス感染症対策のため、ふれあい食育教室中止)
実績値(令和3年度)	9校
数値目標(令和4年度)	9校
実績値(令和4年度)	9校
数値目標(令和6年度)	13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>栄養教諭による食に関する指導は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、市内小学校1・3・6年を対象に計画しています。</p> <p>一方で、当初予定していた中学校へは教育活動の精選のなかで、具体的には進んでいません。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>コロナ禍で制限されていた内容も新型コロナウイルス感染症対策を行い、予定通り実施することができました。栄養教諭の方が指導して下さることで、より理解が深まり児童の関心も高まりました。</p> <p>中学校では家庭科の授業で献立作成等は行っているため、既存の教育活動に栄養教諭が参加する等、工夫することで実施可能となるよう計画を進めます。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	1	特別支援教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	インクルーシブ教育を実現するための特別支援教育体制整備
内容	合理的配慮の決定・合意形成のためにアセスメントの充実を図り、インクルーシブ教育システムの構築に向けて基礎的環境の整備に努めます。巡回相談を活用し、個に応じた適切な就学支援を進めるとともに、巡回相談担当者会議や湖南省専門家チーム会議※で、より専門的な立場からの検討や医療的な助言を得られるようにします。 子どもたち一人ひとりの特性や障がいの状況・程度などを的確にとらえた「個別の指導計画」を作成し、その能力を最大限に伸ばすよう努めます。 また、「湖南省発達支援システム」を活用しながら関係機関と連携し、子どもが自立し社会参加できる力を一層高めます。 保護者・本人との合意形成を図りながら合理的配慮を提供できるよう、保護者への個別の指導計画の提供を行い、活用を図ります。 子どもの教育的ニーズに最も応えられる学びの場を検討する、就学支援委員会の取組を継続して行います。また、通常の学級・特別支援学級における支援のあり方を視点とする授業改善を推進し、一人ひとりの学力の向上に努めます。
具体施策	湖南省ことばの教室の運営
内容	各中学校区に「ことばの教室」を設置しており、アセスメントに基づいた個別の指導を実施します。 また、一人ひとりの教育的ニーズを受け止めることができるよう、各中学校区に設置されている通級指導教室においても、通級指導と相談支援の充実を図ります。 湖南省発達支援ITネットワークを活用し、指導記録を蓄積するとともに、園・学校訪問による、関係機関と校舎との連携強化に努めます。加えて、市内の保育・教育関係者を対象として研修会を開催し、市内全体の特別支援教育の質の向上を図ります。 市内小学1、2年生に読み書きチェックを実施し、その結果や支援についての情報を各小学校に提供することで、読み書きの力を高める取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通級指導教室通級生の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率
実績値(平成30年度)	令和2年度より実施
実績値(令和2年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和3年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生と今年度通級終了予定児童・生徒)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
数値目標(令和4年度)	通級指導教室通級生(全学年)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和4年度)	通級指導教室通級生(全学年)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
数値目標(令和6年度)	100.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	巡回相談担当者会議や専門家チーム会議を感染対策を取りながら実施し、ケース検討等を行いました。専門性を生かした助言を学校にフィードバックすることが特別支援教育の推進につながりました。 ことばの教室全通級生の教育支援計画作成について、校長会やことばの教室連絡会において依頼・説明し、夏休み中には作成に関わる研修を実施するため全ての小中学校へ巡回しました。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	3か年計画でことばの教室全通級生の個別の教育支援計画作成を進めてきたため、スムーズに移行でき令和4年度で完全実施することができました。 作成については、KIDS(湖南省発達支援ITネットワーク)において学校とことばの教室がやり取りできるシステムを作り、共同して作成できるよう整備しました。作成内容の充実を図ることが今後の課題となっています。	A ⊖ B ⊙ C ⊖ D
------------	---	---------------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応	
内容	<p>「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>いじめや命の大切さについて考える取組「湖南省いじめをなくそうサミット※」は、保護者の参加を得て充実してきています。各校で児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。</p> <p>また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めています。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。</p>	
具体施策	さまざまな今日の教育課題への対応	
内容	不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしていきます。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っていきます。	

3. 数値目標

内容(指標)	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
実績値(平成30年度)	小学校6校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和3年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
数値目標(令和4年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和4年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>いじめと不登校、虐待やヤングケアラーの課題等、実態に応じて関係する機関が連携し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが核となって、個に応じたケアを進めています。</p> <p>各小中学校にスクールソーシャルワーカーが配置されていますが、時間数が十分でなくタイムリーに関わることができない課題もあります。</p> <p>市費スクールソーシャルワーカーは、小中学校10校を担当、県費スクールソーシャルワーカーは、小中学校3校を担当しています。</p> <p>12月末現在、市費スクールソーシャルワーカーは、今年度予算措置時間数747時間のうち570時間(76%)活動、県費スクールソーシャルワーカーは、今年度予算措置時間数684時間のうち583時間(85%)活動しています。</p> <p>活動内容は、保護者面談、児童生徒本人面談、教員との情報共有・助言指導、関係機関との連携、校内研修会講師、ケース会議等です。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>・全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの学校訪問を行いました。</p> <p>・学校教育課社会福祉士が中心となり、スクールソーシャルワーカーと巡回相談員が連携しながらスムーズなケースワークができるよう、働きかけました。</p> <p>・スクールソーシャルワーカーを全校配置し、連携の強化を図りました。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
内容	「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組めます。 いじめをなくす取組は各校で工夫して行い、児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。 また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めていきます。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応
内容	不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしていきます。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っていきます。

3. 数値目標

内容(指標)	不登校児童生徒の関係機関との連携率
実績値(平成30年度)	小学校65.3% 中学校83.4%
実績値(令和2年度)	小学校90.0% 中学校85.2%
実績値(令和3年度)	小学校90.6% 中学校77.8%
数値目標(令和4年度)	小学校90.6% 中学校79.8%
実績値(令和4年度)	小学校81.8% 中学校70.4%
数値目標(令和6年度)	小・中学校85%以上

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	増加傾向の不登校児童・生徒について、巡回相談員とスクールソーシャルワーカーが連携し、情報を共有することでより適切なアセスメントをしています。また、ふれあい教育相談室の通級や相談業務、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣を継続して行い、個に応じたケアを進めています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新規の長期欠席者が急増し、巡回相談に繋がるタイミングと上記調査の時期がずれたことから関係機関との連携率が下がったように見えますが、中学校区ごとに長期欠席者と今後の対応についての把握はできています。また、学校復帰、教室復帰のみにこだわらず、アセスメントをもとにした個に応じた対応と居場所づくりを重点的に取り組みました。	A B C D
------------	--	----------------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちに応じた幼児教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の充実
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局が行っているブックスタート事業に協力し、4か月児健診時に保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	保幼小連携教育研修会の参加者数
実績値(平成30年度)	0人
実績値(令和2年度)	0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた保幼小連携教育研修会は開催なし)
実績値(令和3年度)	30人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止 県事業「学びに向かう力推進事業」公開研修会に代える)
数値目標(令和4年度)	30人(県事業「学びに向かう力推進事業」公開研修会に代える)
実績値(令和4年度)	60人(県事業「学びに向かう力推進事業」公開研修会)
数値目標(令和6年度)	26人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問等を実施し、園児の観察や支援についての助言を行っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保幼小連携教育研修は実施できていません。</p> <p>幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、「学びに向かう力推進事業」として三雲小学校と平松こども園による実践を行っています。加配教員が園と学校をつなぐ役目を果たしながら、相互の保育や教育を理解し、学びや育ちの特徴を認識したうえでそれぞれの活動に活かしています。11月の授業研究に向けて園から小学校へのスムーズな移行に関した連携した取組を実施しています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保幼小連携教育研修は実施予定していませんでしたが、三雲小学校と平松こども園で令和3年度、4年度と取り組んだ「学びに向かう力推進事業」について、保幼小中特別支援教育コーディネーター会議で報告し、中学校区ごとに意見交流と情報交換を実施しました。もっと相互に教職員の交流ができれば、との意見が多く、今後どのように取り組んでいくかが検討課題となっています。</p> <p>次年度より、三雲小学校だけでなく、市内小学校において就学前の保育や学びを理解したうえで、スムーズな移行ができるカリキュラムを取り入れたいと考えています。</p>	A ⊕ C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 図書館

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちにに応じた幼児教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の充実
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局と協力の元、ブックスタート事業を実施し、4か月児健診のタイミングで保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	乳幼児向け絵本コーナーの設置
実績値(平成30年度)	2館に「はじめてであう絵本」コーナーの設置
実績値(令和2年度)	継続
実績値(令和3年度)	継続
数値目標(令和4年度)	継続
実績値(令和4年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症対策下、ブックスタート事業の実施が困難となったため、今年度も図書館で本の手渡し、保護者への説明を行うとともに、おはなし会の案内を行っています。令和4年度から図書館へ事業が移管され、感染症対策のため制約のある状況ですが、できる限りサービスを実施していきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症対策下、ブックスタート事業の実施が困難となったため、令和4年度から図書館へ事業が移管されました。図書館で本の手渡し、保護者への説明を行うとともに、おはなし会の案内を行っています。感染症対策のため制約のある状況ですが、できる限り多くの子どもが絵本と出会えるよう、サービスを実施していきます。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって学校運営協議会の設置の推進や子ども育ての課題の共有化を図ります。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実による地域住民・保護者の学校教育への参画
実績値(平成30年度)	小学校7校 中学校3校
実績値(令和2年度)	市内全小中学校に設置(9小学校・4中学校)
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校に設置完了
数値目標(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	学校運営協議会の設置は全国的に約42.9%であります。本市では昨年度より100%を達成しています。各校には地域住民や保護者の代表として、6～14名の委員が任命されています。協議会の適切な運営のためには、助言や情報提供が必要です。そのため、市教委からも行政委員として各学校協議会に1名の委員がその任に就いています。各委員の研修や研さんによる資質の向上は喫緊の課題です。各学校運営協議会は年間4～5回開催し、そのねらいに応じた部会の活動を計画し、予定どおり実施しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	学校運営協議会の設置は100%を達成しています。10校1中学校区のすべての学校運営協議会は、年間3～5回開催し、最終的には今年度の学校評価に基づき、校長の次年度の学校経営方針について承認をおこなっています。コミュニティ・スクールとして、次年度は、さらなる協議会での熟議の内容の充実を図っていくことが課題となっています。	A ⊕ C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって学校運営協議会の設置の推進や子ども育ての課題の共有化を図ります。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	地域学校協働本部事業の取り組み
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	継続
実績値(令和4年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	国、県の補助事業である「地域学校協働活動推進事業」において市内小中学校に地域コーディネーターを配置し、地域と学校の協働による教育力の向上を図っています。地域から学校への教育支援活動が年々充実してきており、また学校の児童生徒たちが地域活動に参加・参画していくことで地域の活性化に貢献することも期待されています。しかし、現在も収束しないコロナ禍の状況から、活動範囲が制限されているのが現状です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	「地域学校協働活動推進事業」における各校の地域コーディネーターの存在は地域に開かれた学校づくりの要となっています。それぞれの学校ではめざす子ども像を地域と学校が共有しながら、特色ある活動を推進しています。市教委では年2回運営委員会を開催し、市内全体また中学校区での情報共有を密にし、コーディネーターのスキルアップを図っています。ただ今年度は、コロナ禍の状況から活動回数や範囲を制限した学校と活動を推進した学校の差が見られました。それぞれの事情はありますが、次年度はすべての学校が計画通りの活動を進めていけるよう支援したいと考えています。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	3	地域や地元企業との連携促進

2. 具体施策の概要

具体施策	企業などの社会貢献活動の促進と学校教育環境の充実の好循環
内容	企業・事業所や団体による寄付行為などの学校応援の輪を拡大するとともに、学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図るため、「学校教育きらめきサポーター事業」の取組を継続して推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	学校教育きらめきサポーター事業認証事業所数
実績値(平成30年度)	3事業所
実績値(令和2年度)	2事業所
実績値(令和3年度)	3事業所
数値目標(令和4年度)	5事業所
実績値(令和4年度)	6事業所
数値目標(令和6年度)	5事業所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	対象となる寄附(1件あたり10万円以上)の実績は3件ありました。 昨年度要綱の一部改正を行い、教育長が認証基準を満たすと認める場合は認証を行うことができるようにしたため、この3件を認証しました。引き続き、湖南省の学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図っていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	6事業所を認証しました。 昨年度途中に、要綱の一部改正を行い、事業所から認証申請書等を企業等に提出いただくことを廃止し、教育長が認証基準を満たすと認める場合は認証を行うことができるようにしたため増加したと考えられます。今後も引き続きPRに努め、認知度を高めながら、地域や地元事業所との連携促進を図っていきます。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課・図書館

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	1	多様な学習機会の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	地域に密着した学習機会の提供と人材の育成
内容	地域の課題解決や多様化する市民ニーズに応じた学習機会の充実と情報提供に努めるとともに、生涯学習の推進を図るため、地域にある身近な場所で主体的に学習活動が行えるよう、学びの場づくりを支援します。 また、地域の文化や学びの成果を活かして、市民が体系的に学び、力を発揮できる場や仕組みの検討、市民参画の場の充実と社会教育団体の育成支援に努めます。
具体施策	公立図書館の充実
内容	図書館がその機能を果たすためには、新鮮で魅力的な資料があること、資料を知り、資料と市民とを結ぶ職員がいることが大切です。市民のニーズを把握し、両図書館および移動図書館で、蔵書の充実を図ります。 施設内では、だれもが快適に利用できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したサービスの実施に取り組めます。 また、利用案内チラシやホームページを活用することで、図書館を利用していない人へのアプローチも図ります。 図書館に来館することが難しい市民に対しては平成30年11月に開設した電子図書館によって資料提供を図ります。また、地域資料のデジタル・アーカイブ化に向けて環境を整えます。 市民の生涯学習推進の拠点施設として、展示や講座、講演会などの集会行事を実施し、文化情報の発信をめざします。 地域との協働においては、展示・講演などの活動発表の機会の提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	図書館の年間新規利用登録者数
実績値(平成30年度)	793人
実績値(令和2年度)	1008人
実績値(令和3年度)	1,110人
数値目標(令和4年度)	1120人
実績値(令和4年度)	962人
数値目標(令和6年度)	893人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	494人(令和4年4月～9月の実績) 令和元年度より、非来館型サービスとして移動図書館による巡回先を保育園、こども園、幼稚園を中心に拡大し、新たな利用者の拡大に努めてきました。今年度も引き続き巡回を行っています。石部・甲西両図書館の利用が多い夏休みに新型コロナウイルス感染拡大第7波を迎えたこともあり、昨年度と比べ新規登録者は減少しています。今後は新たな利用者の開拓のため、ブックスタートやおはなし会などの事業を感染動向をみながら実施すると共に、様々な図書館サービスの広報に努めます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和元年度より、非来館型サービスとして移動図書館による巡回先を保育園、子ども園、幼稚園を中心に拡大し、新たな利用者の拡大に努めてきました。新型コロナウイルス感染拡大第7波の影響で夏休みの利用が減少していましたが、目標は達成できる見込みです。来年度は移動図書館の巡回場所が1園増える予定で、引き続きサービスを行っていきます。	A (B) C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	出会い・気づき・発見講座や保護者講座の参加者のアンケートで「大変良かった」、「良かった」と回答した人の割合
実績値(平成30年度)	88.00%
実績値(令和2年度)	87.80%
実績値(令和3年度)	98.7%
数値目標(令和4年度)	90.0%
実績値(令和4年度)	93.9%
数値目標(令和6年度)	90.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	コロナ禍ではありますが、昨年度中止をした保護者講座(3回)の開催を決定しました。広く市民を対象とした出会い・気づき・発見講座と共同開催の形をとり、実施していきます。また、地域のリーダーに向けたより専門的な内容の豊かなつながり創造講座も7回予定しています。直接会場に来て受講していただく従来の開催方法に加え、オンライン(zoom)でも受講できるように工夫をしています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>コロナ禍のなか、感染予防対策や開催方法を検討し年8回の講座を開催しました。</p> <p>参加者は合計346名で、アンケート提出は273名。「大変良かった」、「良かった」と回答した人数は256名、割合は93.9%と目標数値を達成しました。</p> <p>来年度以降も、市民ニーズをより一層把握し満足度の高い講座となるよう努めていきます。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	人権まちづくり懇談会で人権について話し合い、学ぶ活動への市民の参加人数
実績値(平成30年度)	1,648人
実績値(令和2年度)	869人
実績値(令和3年度)	636人(令和4年3月15日現在)
数値目標(令和4年度)	1,000人
実績値(令和4年度)	650人
数値目標(令和6年度)	1,800人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	役員向け説明会を開催(5か所)し、コロナ禍であっても、各区で少人数での実施を呼びかけています。現在、実績報告書の提出はないため、参加人数は不明です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内43区で年2回の開催を例年どおりお願いし、コロナ禍のなか各区においては感染予防対策や開催方法を検討し取り組んでいただきました。感染拡大などの状況により少人数での開催や計画変更も余儀なくされ、参加者合計650人と目標数値に遠く及ばない人数となりました。 来年度以降、より多くの市民が参加できるよう、課題の検討などを各区とともに進めていきます。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	---	--

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	1	家庭の教育力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	ICTリテラシー教育の推進
内容	スマートフォンなど情報機器の正しい使い方が実践できる取組を、子どもたちへの実態調査・保護者への啓発と併せて実施し、「湖南省スマホ使用3ヶ条※」の浸透を図ります。また、PTA・学校・子どもとの連携を通じて、情報機器の「使用マナーの意識化、使用のルールづくり」をさらに進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	教職員を対象としたICTリテラシー講座の開催
実績値(平成30年度)	小学校4校 中学校2校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	全ての学校で今年度中の研修を予定しています。現在、小学校6校、中学校2校で実施済みです。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	警察や電話会社等を外部講師に招いての特別講座を全ての小中学校で実施できました。	A (B) C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	2	家庭教育を支援する人材育成

2. 具体施策の概要

具体施策	親育ての場の提供と人材の育成
内容	<p>各家庭で、親の自主的な判断に基づき家庭教育が行われるためには、子育てに関する親の不安や悩みを解消する場が必要なことから、悩みを抱える親が相談できる場づくりの充実に努めます。また、関係機関と連携し、子育てに関する学習機会や情報の提供に努めます。</p> <p>さらに、社会全体で家庭教育を支える必要性が高まっていることから、助言や指導を行えるよう人材の育成に努めます。また、地域全体で子育てに対する意識の向上と輪の拡大に努めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	家庭教育講座の参加人数
実績値(平成30年度)	102人
実績値(令和2年度)	44人
実績値(令和3年度)	84人
数値目標(令和4年度)	60人 ※15人×4回
実績値(令和4年度)	49人
数値目標(令和6年度)	110人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>今年度は、夏休み期間に第1回・第2回を開催し、合計で延べ29人(10家族)が参加され、家庭で実践できるレシピ料理やけん玉・こま作りについて、親子で楽しく学べる機会を提供することができました。</p> <p>第3回目は小さい子どもがいる家庭の防災、第4回目は子どもがインターネットに触れる際に気を付けるべきことについて、10月に講座を開催する予定です。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>これまでの参加や意見等を考慮し、参加しやすいように夏休み期間を中心に計画をしましたが、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、第3回目、第4回目は10月開催となりました。参加された方には家庭教育について学んでいただく機会提供ができました。体験型の講座は親子で参加ができることから、人気が高く参加者も多くなりますが、受講型は少ない傾向にありましたので、今後の検討材料とします。</p>	A B C D
------------	---	----------------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	1	青少年の交流と活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	青少年の体験活動の機会の充実と社会参加の促進
内容	<p>各種青少年団体の育成支援と、青少年育成市民会議、学区民会議をはじめとする青少年に関わる各種団体への支援を通じて、体験活動の機会の充実に努めます。</p> <p>また、青少年の活動の場がつけられるよう地域に働きかけを行い、子どもと地域住民との交流の機会を促進するとともに、青少年が社会や地域に参画する機会の提供に努めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	10代の青少年を対象とした事業の実施(「青春祭(あおはるさい)」など)
実績値(平成30年度)	実施
実績値(令和2年度)	体験事業 16件 子ども若者育成支援強調月間(11月)に合わせて、広報誌「育み」を8,000部発行
実績値(令和3年度)	「17th青春祭(あおはるさい)2021」実施
数値目標(令和4年度)	青春祭(あおはるさい)の実施
実績値(令和4年度)	「18th青春祭(あおはるさい)2022」実施
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>11月27日(日)の甲西文化ホールでの開催に向け、甲西北中学校および日枝中学校の生徒で構成する実行委員とともに準備を進めています。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実行委員会はアンケート形式です。</p> <p>感染対策により来場者を制限する予定ですが、青春祭(あおはるさい)開催後は、湖南省青少年育成市民会議の広報誌「育み」にて、市内に広く周知・啓発を実施したいと思います。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>11月27日(日)甲西文化ホールで開催しました。甲西北中学校および日枝中学校の生徒10人が実行委員として企画・運営を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度と同様、実行委員会はアンケート形式で実施しましたが、実行委員企画の発案、チラシ・プログラムおよびステージ看板の作成などを主体的に進めていました。</p> <p>青春祭(あおはるさい)開催後は、湖南省青少年育成市民会議の広報紙「育み」にて、市内に広く周知・啓発を実施しました。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動を実施します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	無職少年の就労のための企業訪問の実施回数
実績値(平成30年度)	12回
実績値(令和2年度)	新型コロナウイルス感染拡大防止により企業訪問は中止。代わりとして、来所相談及び電話相談を129件受けました。
実績値(令和3年度)	12回
数値目標(令和4年度)	15回
実績値(令和4年度)	16回
数値目標(令和6年度)	20回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>9月現在、無職少年の就労支援のニーズが少ないため、5回にとどまっています。今後、湖南省工業会・商工会などの紹介をもらいながら拡大を図っていきます。また、外国籍少年の支援が増えているので、外国籍少年の就労支援の道も切り開いていきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>無職少年の就労支援が少なかったが、ひきこも傾向の外国籍少年の就労支援や職場体験を実施できました。工業会や団地協会と連携して、協力企業を拡大できるように取り組みました。また、市内企業のほかにも、少年を受け入れてくださる総合人材サービス「ワークスタッフ」の方が来所され、ニーズが出てきたら紹介できる体制を整えられました。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動を実施します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	課題をもつ少年や家族との専任カウンセラーによるカウンセリング回数
実績値(平成30年度)	週1回
実績値(令和2年度)	23回
実績値(令和3年度)	21回
数値目標(令和4年度)	20回以上
実績値(令和4年度)	22回
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	9月現在で10回実施しました。無職少年の様子を聞き取り、専門的な立場からのカウンセリングにより、自覚的な生活改善や立ち直りへの支援を行っていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>少年相談15回、保護者相談1回、その他6回で、合計22回実施できました。社会の複雑化、コロナ禍など少年の置かれる環境はますます厳しくなっています。それに伴い、悩みも複雑化してきている中で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長ができるように努めました。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの人々に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるために、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	消防署と学校防災教育コーディネーターが連携して行うモデル型避難訓練校の実施校数
実績値(平成30年度)	小中学校0校
実績値(令和2年度)	小中学校0校(新型コロナウイルス感染症の防止のため実施せず)
実績値(令和3年度)	小中学校8校
数値目標(令和4年度)	小中学校10校
実績値(令和4年度)	小中学校13校
数値目標(令和6年度)	全小中学校13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症の影響から消防署との連携ができていない学校がありましたが、今年度は打ち合わせや振り返りのみの連携でもできるように進めています。また、消防署と連携した避難訓練の取り組み方について、防災教育コーディネーターに研修会を開きました。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	コロナ禍であるため、消防署との連携についても制限があり、訓練に消防署の方が参加することは難しかったです。ただ、事前事後の打ち合わせやふりかえりについては、直接消防署と話をしたり、電話で確認できたりと現状できる連携を行いました。 今後は連携したよい実践を各校において共有できるように研修できる場を設定していきます。	B
------------	---	---

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるために、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	地域まちづくり協議会や保護者と連携して行う訓練
実績値(平成30年度)	小学校2校
実績値(令和2年度)	小学校2校
実績値(令和3年度)	小学校1校
数値目標(令和4年度)	小学校3校
実績値(令和4年度)	小学校2校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	まちづくり協議会と連携しての訓練は未実施であるが、保護者と連携した災害時の引き渡し訓練はいくつかの小学校にて実施予定です。 通学路合同点検については、市内小中学校13校+2つの園にて実施済みです。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	保護者の引き渡し訓練は実施できた学校はありましたが、コロナ禍ということもあり実施できていない学校がたくさんありました。毎年、全ての学校において行うものではないですが、少しでも多くの学校において実施できるように進めてまいります。また、CSで行う避難訓練についても提案していきます。	C
------------	---	---

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の合同点検箇所(累積)
実績値(平成30年度)	116か所
実績値(令和2年度)	157か所
実績値(令和3年度)	187か所
数値目標(令和4年度)	217か所
実績値(令和4年度)	213か所
数値目標(令和6年度)	380か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	市内小中学校や園より報告された危険箇所について、8月に「通学路等安全推進会議」を開催し情報共有をしました。後日、通学路の危険箇所合同点検を4日間の日程で25か所実施しました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和4年度実績 213か所【累計】 甲賀警察署や県と市の担当部署、おうみ通学路交通アドバイザー、各校担当者 と連携して通学路の合同点検を実施することができました。また、合同点検後に、 急きょ点検を要する箇所が発生したため、関係機関と緊急点検を1箇所実施しまし た。更に合同点検以外でも緊急の対応する必要が生じたため、2箇所で開催課等 と複数回点検を実施しました。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課・教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的に行うことを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の対策実施箇所(累積)
実績値(平成30年度)	55か所
実績値(令和2年度)	81か所
実績値(令和3年度)	102か所
数値目標(令和4年度)	123か所
実績値(令和4年度)	136か所
数値目標(令和6年度)	116か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	通学路など危険箇所の対策実施箇所については、合同点検を通じて各関係機関と連携し対応策を協議中です。通学路の緊急点検を含め安全点検を引き続き実施し、対策を講じる必要があります。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	通学路等危険箇所については、通学路等の合同点検・緊急点検を行い、対策について各関係機関と協議を行いました。令和4年度行った合同点検は25箇所、緊急点検は1箇所です。令和4年度の危険箇所対策は34箇所、対策実施予定です。 (対策実施箇所136か所【累計】)	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	2	開かれた学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	絶えず地域へ情報発信する取組
内容	<p>各校の活動の様子は、定期的な校報やホームページ、タウンメール、プレスリリースなどによって積極的に発信するように努めます。また、保護者懇談会や学校運営協議会などを通じて、学校の現状や今後の活動を広報していきます。さらに、学校公開や地域を交えて実施する行事など、子どもたちの様子を伝えていきます。</p> <p>学校評価としては、定期的に自己評価・学校関係者評価を継続しながら、客観的な視点でも学校の教育活動を評価できるように努めます。</p> <p>各校では、「滋賀教育の日」の活動に賛同し、学校公開の場を設定しています。児童生徒への教育について、保護者や地域住民とともに考える場を継続して設けます。また、各校において新たな取組について模索します。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	学校公開日の実施校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和4年度)	継続
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>各校とも学校行事や新型コロナウイルス感染症への対応等について、ホームページや校報、メール配信サービス等を通じて積極的に保護者や地域に向けて情報を発信しています。また、修学旅行や運動会・体育祭、文化祭等の学校行事について、保護者や地域の方々の意見も参考にしながら学校運営にたあたっています。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症対策を適切に行いながら、工夫した形で学校行事等を行い、そのことをプレスリリース等を利用して発信していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度から湖南省内すべての学校・中学校区で、コミュニティスクールとなり、今まで以上に地域と協働して、学校運営に取りむことができました。また、今年度は、湖南省内の小中学校の授業の様子が、テレビや新聞等で報道されるなど、取材の機会を得ることで、湖南省教育の取組を広く周知することができたと考えています。次年度も、積極的なプレスリリースの利用を推進し、地域とともにある学校づくりを行っていきます。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設的环境整備事業	
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。	
具体施策	効率的な施設改修の推進	
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	トイレ洋式化工事実施数
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	0校
実績値(令和3年度)	3校はトイレ洋式化率約70%になりました。 目標9校の内、残り6校のトイレ洋式化率は以下のとおりです。 石部南小学校34.0%、三雲小学校28.1%、菩提寺北小学校36.1%、下田小学校59.6%、石部中学校39.5%、甲西北中学校26.6%
数値目標(令和4年度)	6校のトイレ洋式化約70% 令和4年度は3校のトイレ洋式化率(石部南小学校34.0%、三雲小学校28.1%、甲西北中学校26.6%)を約70%に引き上げます。
実績値(令和4年度)	6校のトイレ洋式化率約70%になりました。 令和5年度は3校のトイレ洋式化率(菩提寺北小学校36.1%、下田小学校59.6%、石部中学校39.5%)を約70%に引き上げます。
数値目標(令和6年度)	9校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度は、石部南小学校、三雲小学校、甲西北中学校のトイレ洋式化工事を実施しました。5月に入札を行い、6月2日に契約、夏休み期間を活用して集中的に工事を実施し、9月30日に工事を完了しました。また、来年度の工事実施に向けて、菩提寺北小学校、下田小学校、石部中学校のトイレ洋式化工事設計業務を履行しているところです。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	3校のトイレ洋式化工事を完了しました。 石部南小学校(トイレ洋式化率34.0%→79.5%) 改修前: 和式33基・洋式17基、改修後: 和式9基・洋式35基 三雲小学校(トイレ洋式化率28.1%→75.0%) 改修前: 和式41基・洋式16基、改修後: 和式14基・洋式42基 甲西北中学校(トイレ洋式化率26.6%→67.1%) 改修前: 和式58基・洋式21基、改修後: 和式23基・洋式47基 次年度も3校のトイレ洋式化率約70%を基準として工事実施を予定しています。	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設的环境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校施設長寿命化計画の策定
実績値(平成30年度)	未策定
実績値(令和2年度)	策定
実績値(令和3年度)	策定
数値目標(令和4年度)	計画の実施
実績値(令和4年度)	計画の実施
数値目標(令和6年度)	計画の見直し実施

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	令和3年3月に「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を策定し、この計画に基づき、今年度は3校のトイレ洋式化工事を実施しました。次年度も計画に基づき取り組んでいく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和3年3月に「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を策定し、この計画に基づき、今年度は3校(石部南小学校・三雲小学校・甲西北中学校)のトイレ洋式化工事を実施しました。次年度も計画に基づき、3校(菩提寺北小学校・下田小学校・石部中学校)のトイレ洋式化工事を実施する予定です。	(A) B C D
------------	--	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	2	学校給食の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校給食の効率的な運営
内容	児童生徒に栄養バランスの採れた給食を提供するとともに、栄養士による食指導や調理内容の充実に取り組みます。 また、学校給食センターにおいて保育園・幼稚園・認定こども園、小学校低学年を対象にした見学会の開催や、卵アレルギー対応食の実施を引き続き行います。

3. 数値目標

内容(指標)	小中学校に提供する和え物献立の残食率
実績値(平成30年度)	小学校 10.6% 中学校 14.9%
実績値(令和2年度)	小学校 14.6% 中学校 22.4%
実績値(令和3年度)	小学校 14.0% 中学校 21.2%
数値目標(令和4年度)	小学校 11.8% 中学校 16.8%
実績値(令和4年度)	小学校 17.6% 中学校 24.3%
数値目標(令和6年度)	小学校 10.4% 中学校 14.7%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	残食率の平均値は令和4年9月30日現在、小学校16.8%、中学校22.1%となっております。今年度も栄養士による食指導を実施し、栄養をしっかりと取ることの大事さを伝えながら残食率の低下に努めてきました。 課題として、給食センター職員および栄養士の働きかけだけでは、一時的なもので終わってしまうため教職員の協力が必要と考えます。 今後も栄養バランスの大事さを伝える食指導を実施しながら、残食率の低下に繋がるよう努めます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	残食率の平均値は令和5年2月28日現在、小学校17.6%、中学校24.3%となっております。中間報告時よりも残食率があがっており残念な結果となりました。しかし月別に見ますと、食指導を実施した月、翌月は、残食率が下がっていることがわかり、一定の効果がありました。 9月以降に残食率が上がった理由は、突発的な学級閉鎖によりその日の調理分が残食率に直結したと考えます。 また、食指導の実施により一定の効果はありましたが、給食センターのみで残食率の低下を実現するには限界があり、継続的な効果を得るためには、学校と連携した取り組みを進めていく必要があると考えています。	(A) B C D
------------	---	-----------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p> <p>さらに、教員が学校や校種の枠を超えて、気軽に指導方法について相談できる「きょういくげんき塾」は、塾生のニーズに合わせてテーマを設定し、先輩教員からの助言を通して主体的に学び合える場とします。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	教員のニーズに合う多様な研修の開催(教師力アップセミナー)
実績値(平成30年度)	19講座
実績値(令和2年度)	14講座 のべ270人
実績値(令和3年度)	14講座 のべ305人
数値目標(令和4年度)	20講座
実績値(令和4年度)	18講座 のべ435名
数値目標(令和6年度)	継続

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

4. 進捗状況(9月30日現在)

実施内容(進捗実績)	市内教職員のべ435名の参加がありました。新型コロナウイルス感染症の感染状況等からオンライン開催に変更する等事務局が様々な工夫を行って実施することができました。しかし、予定していた20講座のうち2講座が中止となりました。選択研修のため、自分の希望する講座に参加し、積極的に学ぶ教職員の姿が見られました。研修後のアンケートから、どの講座も教職員にとって満足できる研修会だったことがうかがえました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下でも、各講座の事務局が工夫をし、講座の数・質ともに充実したものを開設することができました。</p> <p>市内教員が講座の講師を担当したものがほとんどであり、現場のニーズに合った研修になりました。さらに、研修生の反応を受けて、講師が自信を持つことができました。教員同士の学び合いの場になっています。</p>	Ⓐ B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p> <p>さらに、教員が学校や校種の枠を超えて、気軽に指導方法について相談できる「きょういくげんき塾」は、塾生のニーズに合わせてテーマを設定し、先輩教員からの助言を通して主体的に学び合える場とします。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	市教委から各小中学校へ関係機関の活用促進・連携強化に伴う指導・働きかけ
実績値(平成30年度)	年間2回×13校
実績値(令和2年度)	年間2回×13校
実績値(令和3年度)	年間2回×13校
数値目標(令和4年度)	年間2回×13校
実績値(令和4年度)	年間2回×13校
数値目標(令和6年度)	年間3回×13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>年度初め(4月・5月)に各小中学校において、スクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を行いました。訪問の際には、「スクールソーシャルワーカー活用の手引き」と「SSWたより」を配布し、より具体的にイメージできるように取り組みました。また、必要時にケース会議や各校の教育相談部会等に参加し、日頃から機関連携を行っています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を実施しました。</p> <p>学校教育課社会福祉士が中心となり、スクールソーシャルワーカーと巡回相談員が連携しながらスムーズなケースワークができるよう、働きかけました。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを全校配置し、連携の強化を図りました。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校支援員の配置
実績値(平成30年度)	60人
実績値(令和2年度)	76人
実績値(令和3年度)	87人
数値目標(令和4年度)	70人
実績値(令和4年度)	80人
数値目標(令和6年度)	70人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	配置人数は現在71人となっています。 当初予定の時数分の配置ができています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	配置人数は、80人でした。学校教育に寄与したいとご協力くださる方は、多く、支援員としての意義を感じて、継続して勤務されている方が多いです。学校支援員という言い方を教員業務支援員と改め、教職員の働き方改革につながる業務であることを意識づけることで、教職員の教育の質を高めていきます。	A B C D
------------	--	---------

令和4年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	部活動指導員の配置
実績値(平成30年度)	4人
実績値(令和2年度)	5人
実績値(令和3年度)	8人
数値目標(令和4年度)	8人
実績値(令和4年度)	8人
数値目標(令和6年度)	8人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	4中学校、各2名の募集ですが、時期によっては1名の学校もありました。9月末現在、7名を配置しています。 今後、運動部の部活動が地域移行されていくのであれば、さらなる指導員の必要性があります。体制づくりはもちろん予算の確保など課題が山積みです。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	配置人数は、文化部1名、運動部7名の計8人でした。 今後の部活動の地域移行化に向け、さらなる人員増加を望みたいところですが、人材の確保、予算の確保をどのように進めていくのが課題です。	A ⊕ C D
------------	--	---------